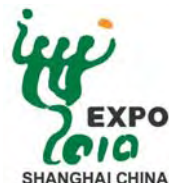


2010年上海世界博覧会の紹介  
「An Introduction to World Expo 2010 Shanghai China」  
(英文資料仮訳)

目 次	
中国の概要	1 頁
上海の概要	2 頁
上海世博の計画概要	3 頁
テーマの展開	4 頁
会場及び展示館計画	9 頁
財政支援	15 頁
コミュニケーションとプロモーション	15 頁
商業化計画	17 頁
参加の手続要領	20 頁
参加コスト	21 頁

(元資料は 2006 年 7 月 発行)



発行元 2010年上海世博会事務協調局

## 2010年上海世界博覧会の紹介 (An Introduction to World Expo 2010 Shanghai China)

### 中国の概要

- 略史：** 中国は、世界の古代文明発祥地の一つとして、文字で記録された4000年を超える歴史をもつ。  
紀元前（BC）2070年に夏王朝が出現し、BC 221年に、始皇帝が250年にわたる戦国時代を終焉させて中央集権国家として中国を統一。以降、2000年を超える封建的な中国史の中で、漢、唐、宋、明、清を含む王朝の盛衰を見る。この間の歴史的ハイライトとして、始皇帝によって建設された万里の長城、漢の時代（BC 206年から220年）のシルクロード、10世紀から14世紀に世界に広まった製紙、印刷、コンパス、火薬の四大発明、並びにコロンブスの大航海時代に先立つ、1405年から1433年にかけての鄭和（Zhen He）による東南アジア、インド、アフリカへの大艦隊の遠征といった例が、古き中国の史詩に語られる。  
中国最後の清王朝は、孫文（Dr. Sun Yat-sen）に率いられるナショナリストにより1911年に崩壊。1949年に中華人民共和国が建設される。
- 首都：** 北京
- 国家主席：** 胡錦濤（Hu Jintao） 2003年3月15日選出
- 国土面積：** 9,600,000 k m<sup>2</sup>  
(国土面積はロシア、カナダに次いで第3位。耕作面積は130.04百万ha.)
- 地理的条件：** 北朝、モンゴル、ロシア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタン、インド、ネパール、ブータン、ミャンマー、ラオス、ベトナムと国境を接し、山岳、高原、砂漠地帯が西部にあり、平野、デルタ、丘陵地帯が東部にある。中国最高峰は世界最高のチョモランマ（エベレスト）。
- 人口：** 2005年末現在、13億756万人。世界の人口の5分の1にあたる。但し、香港、澳門（マカオ）特別行政地区と台湾を除く。さらに、建設省の年次報告によれば、2003年末までに3億3,805万人の人口が都市に集中。
- 人口密度：** 134人/k m<sup>2</sup>。米国の約倍。都市の平均人口密度は847人/k m<sup>2</sup>。
- 人種：** 漢民族：91.6% 非漢民族：55の少数民族で構成。
- 人口構成：** 主たる人口は、黄河、長江（揚子江）の中流、下流の流域、及び珠江（広州）地域に集中。  
豊かな中国東部地域との格差是正政策として、2000年に低開発地域にあたる中国西部、中部に対して西部大開発（Go-West campaign）がはじまる。
- 宗教：** 1億人を超える宗教信者の中、仏教徒が大部分を占め、道教、イスラム教、キリスト教徒（カトリック、新教徒）がこれに続く。

- 言語：** 標準中国語（北京話）。中国本土では簡体字が使われ、香港、マカオ、台湾では繁体字が使われる。
- 経済：** 1978年以降の経済改革により急速に経済成長が進む。1980年の1,280億米ドルに対し、2004年のGNPは1兆7,060億米ドルに上昇。2004年の輸出入の貿易額は11億5,480万米ドル、外国の直接投資総額は登録ベースで1,535億米ドルに上る。2004年の一人当たりの個人所得は1,290米ドルに相当。
- 教育：** 2002年統計ベースで、高等教育機関が2,003。人口の42.8%が高校卒。19%が大学卒。文盲率は10年前の22.23%に対し8.72%に低下。無学文盲の90%は地方の農村部にみられる。

## 上海の概要

- 沿革：** 19世紀中葉まで揚子江の河口デルタ地帯の漁村に過ぎなかったが、行政地区としての歴史はさらに遡る。西暦751年に華亭県（*Huangling County*）として行政区が定められ、991年、上海に県制が敷かれる。1260年から1274年の14年間、重要な交易地となり、1292年に、時の中央政府が上海府を承認して以来、上海の立場が公けに確立される。
- 現在の上海市の面積は、中国第三の島である崇明島（*Chongming Island*）を含めて6,340.5k m<sup>2</sup>、中国全土の0.06%を占める。
- 上海市は、18区、1県を有し、人口は近年2,000万人に達した。かつてない高度成長に支えられ、1992年から今日まで、13年連続してGDPで2桁成長を維持し、東アジアの主要経済都市に向かっている。
- 上海は、北京の叙事詩的な歴史や西安の壮大な景観はないが、現代中国のホット・スポットで、芸術の殿堂、美食と現代の都市生活を誇るコスモポリタン都市である。
- 市の花：** 白モクレン。上海では通常4月はじめの春に咲く花。上海人のパイオニア的企業家精神のシンボル。

### 市の紋章：



現在の市の紋章は1990年に定めたものであるが、上海の特徴を現すものとして、白モクレンと古くからの土地の帆船、プロペラのイメージからなる。

### 主な統計：

- G D P：** 930億米ドル（2004年現在）
- 貿易量：** 輸出入合計1,600億米ドル（2004年）
- 所得額：** 一人当たり平均2,085米ドル（2004年）
- 世界の姉妹都市：** 50都市（訳注：日本は大阪府。友好都市として大阪市、横浜市。）
- 在上海外国公館：** 55カ国の領事館（訳注：日本を含む。）
- 高等教育機関：** 76
- 市民の大学進学率：** 53%

## 上海世博の計画概要

基本テーマ： 「より良き都市、より良き生活」  
“Better City, Better Life”（城市、讓生活更美好）

サブテーマ：

- a. 都市文化の多様性 (*Urban cultural diversity*)
- b. 都市経済の成長と繁栄 (*Urban economic growth and prosperity*)
- c. 都市における科学技術のイノベーション  
(*Innovation of science and technology in urban context*)
- d. 都市のコミュニティの改造 (*Remodeling of urban communities*)
- e. 都市と地方の相互作用 (*Interaction between urban and rural areas*)

基本理念： 調和のとれた都市 (*City of Harmony*)

シンボルマーク：



このマークは、「あなた、私、彼・彼女」の3者が手を取り合って、人類の大家族を象徴するイメージを表す。このデザインは、中国字の「世」の形を下に、グローバルな規模で世界の都市文化の多様性を示す万博開催の希望を伝えようとするもの。

開催期間： 2010年5月1日から10月31日まで

開催地： 上海市、黄浦江 (*Huangpu River*) 両岸の都心部。

開催目的： 四大古代文明の一つとして、中国は人類の初期の歴史において輝かしい都市文化を発展させた。中国におけるかなりの数の都市は1000年を超える歴史を誇る。これは中国文化の真髄を代表し、世界の文化遺産の一部を担う。中国は、世界の人口の5分の1を占め、1000万人規模の都市を5つ、100万人規模の都市を102もつ。

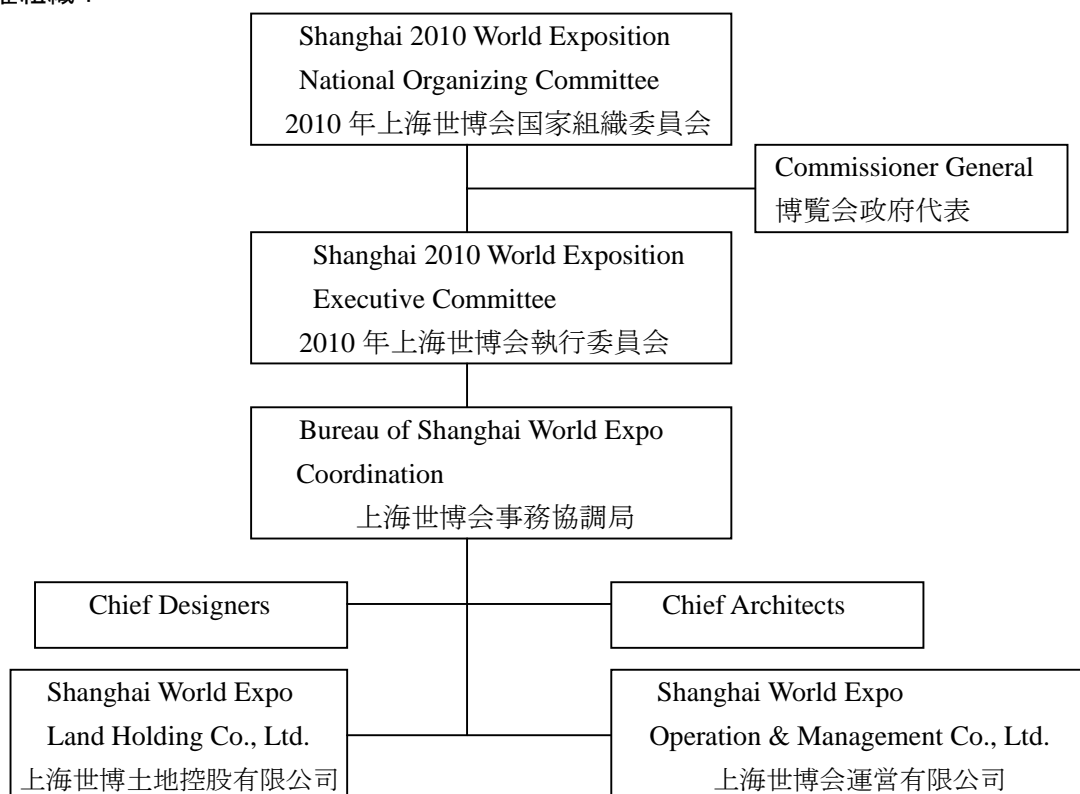
過去20年にわたって、中国の都市人口は急速に増加した。1978年から2000年にかけて、中国の全人口に占める都市の人口は17.9%から36.1%に増加した。急速な都市化に直面した中国政府は、持続可能な都市の建設に専心している。過去と未来への接点にあって、中国は、持続可能な都市生活のグローバルな構築に対する対話と協力を積極的に進める態勢にある。

上海は、それ自身、伝説をもつ都市である。

上海の都市化は、今日の万国博覧会が産声を上げた19世紀中葉まで待たざるを得なかったが、以来、この都市は、その揺籃期から成長期を経て、今日の規模と強さを得るまで、都市化のあらゆる過程を辿ってきた。

今日、上海市は、東西の出会いの場として、ビジョンと情熱、決意にあふれる都市において都市生活の輝かしい色彩と都市の問題解決の方向を示し、これらを共有しようとして世界のあらゆるところから集まる人々に門戸を開放しようとするものである。

開催組織：



2010年までの準備作業：

項目 / 年	2005	2006	2007	2008	2009	2010
BIE への登録	■					
開催計画・建築設計	■	■	■	■		
会場整備・造成等	■	■	■			
展示館建設		■	■	■	■	
参加者募集		■	■	■	■	
協賛者募集		■	■	■	■	■

## テーマの展開

基本テーマは『都市、讓生活更美好 (Better City, Better Life)』。

都市とは人類文明の結晶である。アメリカの社会哲学者ルイス・マンフォードがいみじくも述べているように、「都市は、人類文明の果実を保護する目的で考案された、すばらしく緻密な特殊構造体である」。西洋の言語の多くが同じラテン語の"*Civitas*"（「都市」を意味する）から、「文明」(*Civilization*)に相当する言葉を引出しているが、それは決して偶然ではない。都市は、さまざま

まなものを包含し、再生させる性質をもって、人類社会における秩序の構築に重要な役割を果たしてきた。

1800年に世界の人口の僅か2%に過ぎなかった都市の人口は、1950年までに29%に達し、2000年までに、世界の人口の半分が都市に移動した。国連の推計では、2010年までに都市の人口は全人口の55%に達するとみられる。あらゆる栄光の陰で、今日の都市は、過密な生活形態により、空間的摩擦、文化的対立、資源不足、環境的退廃といった一連の課題に直面している。効果的な規制措置がとられない限り、都市の無制限な拡大は、かかる問題を悪化させ、結果として都市生活の質を損なわせることになる。

国連の人間居住会議（ハビタットⅡ）で、居住問題に関するイスタンブール宣言が再確認したように、「我々の都市は、人類が尊厳、健康、安全、幸福、希望の中で生活がまっとうできる場所でなければならない。」都市が直面する全ての問題は、過密、汚染、犯罪、紛争を含めて、人と自然、人と人、並びに生活における精神と物質的側面の間の不調和にその根源があるとみられる。そして、これらの不調和が放置されると、必然的に都市生活の質の低下を招くだけでなく、人類文明の退廃をもたらすことになる。

このような不調和に直面する中で、2010年上海世博は、「*Better City, Better Life*（より良き都市、より良き生活）」に対応して「調和のとれた都市」というコンセプトを提案する。

調和は、人と人、人と天界、肉体と精神の調和を主張した古代中国の哲学の中核思想であり、これは古代西欧の哲学者の思想でもあった。過去数世紀を超えて、人類は、絶えず調和のとれた都市のモデルを探求してきたのである。モアのユートピア、ル・ドゥーの理想都市（*Idealized City*）からハーワードのガーデン・シティに至る一連の理論、提案、モデルは、全て空間的、道徳的、精神的、物質的なインプットとアウトプットにおいて均衡と調和を求めてきたものである。

1980年代からは、環境と開発に対する諸問題の基本的な解決策として、持続可能な開発という概念が登場してきた。世界を取巻くさまざまな政府は、アジェンダ21を自らの言葉に解釈して、「調和」、特に現代と将来の世代間の調和に対する提案に主眼をおいた開発戦略を組み立ててきた。「調和のとれた都市」への探求は、人類の都市の歴史に流れ、未来都市の青図を描く上で重要な焦点になってきたことに認められる。

「調和のとれた都市」とは、科学技術の時代において多様な文化の調和のとれた共存、調和のとれた経済発展、調和のとれた生活を特徴づけるものであり、さらに都市の細胞であるコミュニティの機能、並びに都市と農村地域における調和のとれた相互関係を特徴づけるものである。

サブテーマ：

◆都市における多様な文化の融合

その誕生以来、都市は、さまざまな人間集団と文化を受け入れ、多様な文化の融合を都市のユニークな特色としてきた。その発展過程では、軍事的衝突、

交易、移民などが多文化の衝突と融解につながり、それが押し進められて、最終的には都市それぞれの独特のスタイルが形成された。このスタイルは、一方においてその都市の文化的遺産や創造的な産業に由来し、他方においてあらゆる階層の都市住民の生活スタイルと価値に対する考え方を反映する。今日、世界のあらゆる国は、これまで以上に文化的自由と文化的特質に注目する。グローバル化という環境の中で、都市の文化は多様な枝葉に分かれる。比較的強い文化と弱い文化の間や、外国文化と土着文化、並びに移民文化と主流をなす文化との間に生じる接触と衝突は、情報と人の自由な流れにより、これまでのような激しいものではなくなった。

文化的な多様性は、過去と未来との調和を意味する。都市は遺産を保存するための重要な拠点だが、経済的な発展や近代化が求められるあまり、都市における伝統や遺産の存続が脅かされる傾向にある。その間、情報とデジタル技術の急速な普及により、より多くの人々の間で、存続が脅かされる有形、無形の遺産を保護する必要性が広く認識されるようになった。

この点については、過去を未来につなげ、多様な文化の調和のとれた共存を促し、文化的特質を強調する戦略が、都市の持続可能な開発のための基本戦略に不可欠であると認める都市の行政家も増えている。

#### ◆都市における経済的な繁栄

初期の都市はバザールを基礎に築かれた。人々が集まるバザールは、都市の経済発展の推進力として決定的な役割を果たした。都市の経済的な繁栄は、その都市がもつ有利な立地条件、天然資源、あるいは人的資源などによって支えられることもある。

しかし、知識集約型の経済の時代には、革新性や企業家精神が、都市における持続可能な経済発展の中核的な原動力となる。都市の革新に対する潜在的な可能性は、都市がもつ研究機能のほか、さらに重要なものとして人と人の創造的な相互作用に依存する。企業家精神は、もちろん都市の豊かさと密接に関係してはいるが、リスク負担やベンチャービジネスを促す文化的な伝統に根ざしている。こうした革新や起業は人によって行われるものであるため、都市の経済的な命運は、才能豊かな人々を引きつける魅力的な仕事や生活条件があるかどうかによって左右される。また、都市の経済的な繁栄には、優れたインフラや質の良いサービスも必要である。

一般には、経済的な発展と環境保全は相容れないとされている。世界の多くの都市では、持続可能な開発という目標を達成するための重要な経済戦略として、リサイクル経済を採用している。リサイクル経済では、経済的な発展と環境保全を両立させることを目的として、生産活動における資源消費量の削減 (*reduction*)、製品の再利用 (*reuse*)、廃棄物のリサイクル (*recycle*) の3Rを提唱している。

ひとことで言えば、未来の都市は今より活気に溢れているだろう。そして、その活気は、都市に住む人々の革新性と創造性、並びに人と自然の調和の取れた共存から生まれるのだ。

#### ◆都市における科学技術の進歩

技術進歩の巨大な受け皿である都市には、革新のためのさまざまな要素が集まる。都市における創造的な意志の密なるコミュニケーションは、革新への活力となり、同時に研究・生産施設がこの活力を人類に役立つ技術、製品、サービスに変えることになる。

20世紀以降の急速な技術開発により、大規模な都市化が可能になった。その間に都市においては、物質的な生活の豊かさを最も明確に実感させるようになる。人々は、日常生活において科学技術の恩恵を大いに受けてきた。物質的な生活革命は、人々の文化的な生活や精神的なさまざまな仕事にその姿をくっきりと残している。

未来の都市において、科学技術は、再生不可能な資源の保存、エネルギーの効率的な利用、生物多様性の保護、持続可能な居住モデルの構築などにおいて、一段と積極的な役割を果たすようになるだろう。

#### ◆都市におけるコミュニティの改造

コミュニティは都市の細胞であり、もっとも一般的な社会生活の構成要素である。健康な細胞が健全な組織体を作るように、健全なコミュニティのみが健全で調和の取れた都市を作ることができる。文化的融合と経済的繁栄という目標はすべて、都市のもっとも基本的な生活の場であるコミュニティの活動を通して達成される。

都市におけるコミュニティの建設改造は、常に都市行政家の最も切迫した課題であった。都市開発の歴史の中で最も解決困難な問題のひとつは、都市の社会的地図から如何にして貧困地区をなくすかということである。今日、先進国における都市人口の構造的変化や開発途上国における都市人口の急激な増加が、この問題を一層複雑なものにしている。国連は、2020年までに少なくとも一億人のスラム居住者の生活をかなり改善することを目指して、ミレニアム開発目標の中で「スラムのない都市」という目標を提案している。

持続可能な開発を目指して、21世紀の都市におけるコミュニティの改造には、バランスのとれたコミュニティを創造することが求められる。われわれのいう「バランスのとれたコミュニティ」とは、住民の合理的なバランスと住宅が持てる枠組み、及び安定したインフラと快適な環境、並びに十分な雇用機会とビジネスチャンスなどがみられることをいう。

#### ◆地方と都市との相互作用

都市が誕生して以来、都市と地方は、経済的、社会的活動と環境の点で相互依存の関係にあった。地方の住民は農産物を都市へ売ることによって生計を立て、都市の繁栄はその背景にある地方の資源や需要に依存してきた。

都市の拡大は、土地やその他の資源を消費、あるいは枯渇させることで地方に大きな負担を強いてきた。都市計画に対する新たな考え方は、新技術とともに、こうした負担をかなり緩和することに役立つ。また、地方からの大量の人口流入は都市行政家に難題を課す。都市におけるコミュニティの建設、刷新は、一方において小さな都市や町の建設で大都市の増加速度をコントロ

ールしながら、都市の住民にとってより良い生活環境を構築することにある。グローバル化の影響を受けて、幾つかの国では農業部門が競争力を失ってきた。都市と地方の適切な相互作用は、農家の生計を多様化し、競争力を復活させようとする生産構造の改善上不可欠な要素となる。都市と地方の間の人、資本、商品、情報の流れを適切に管理することが、調和のとれた方法で都市と地方を同時に発展させる鍵となる。

現在、世界人口の凡そ半数は地方に住んでいる。アジアとアフリカでは人口の大半が今でも地方で生活している。開発途上国で都市と地方の間に大きな格差がみられる中で、さまざまな国際機関は、都市の貧困を減らし、地方の生活条件を改善させるために、都市と地方とのつながりを強化するよう働きかける。

都市化が進むにつれ、都市と地方の境界線は次第に消滅し、両者の関係はより緊密になろうとしている。ある意味で、未来の都市における調和は、誰もが均しく生活できる地方に大きく依存することになろう。

#### テーマの遵守と調整方法：

##### ◆審査の仕組み

開催者は、BIE と緊密に連携してテーマが守られる基準づくりを行う。これは参加者が提出するテーマ説明書 (*Theme Statement*) と出展計画書の審査に適用される。

##### ◆テーマ・ステートメントの提出

参加者は、出展スペース割当申請の必要書類として、全般的なテーマと参加者の出展内容を定める「テーマ説明書」を開催者に提出しなければならない。テーマ説明書は、その出展内容にあらわすテーマとサブテーマに関する説明資料を含むものとする。

開催者がテーマ説明書を承認するまで、スペースの割当は最終的なものにならない。

開催者は、博覧会政府代表を通じて参加者からテーマ説明書を受領後、その写しを BIE に回送しなければならない。

##### ◆「出展計画書」の提出

「予備承認申請 (*Application for Preliminary Approval*)」の必要書類として、参加者は、出展内容の詳細を示す「出展計画書」を提出しなければならない。「出展計画書」は、テーマ説明書に示した構想にもとづき、その出展計画の詳細を示すものである。開催者は、出展計画が承認済みのテーマ説明書に即し、テーマ条件を充たすものかどうかを確認しなければならない。

開催者が出展計画書を承認できないときは、公式参加者に対してその詳細理由を説明し、修正提案を行う。開催者は、参加者が十分時間をかけて出展計画を再考できるように、適切な時期に不承認の決定を参加者に通報するものとする。開催者は、継続的にアドバイス・サービスを参加者に提供する。

##### ◆出展内容の発表

参加者は、テーマの遵守基準に沿うべく、出展計画の内容を修正するものと

し、出展計画のテーマの基準レベルに関して同意が得られないとき、開催者と参加者は、合意に達するまであらゆる努力を行うものとする。

参加者は、遅くとも博覧会開会の 120 日までに、出展内容に関する最終情報を開催者に通報するものとし、その情報は、博覧会の公式カタログに使用されるものとする。

## 会場及び展示館計画

### 博覧会会場の場所：

合計 528 ヘクタールの 2010 年上海世博の会場の中、その大部分は南浦大橋 (Nanpu Bridge) と盧浦大橋 (Lupu Bridge) の間の黄浦江 (Huangpu River) 両岸に面する場所に位置する。東岸に 393 ヘクタール、西岸に 135 ヘクタールの会場をもち、その中核地域 (入場券が必要な会場) を 328 ヘクタールとする。(ゾーン別パビリオンの配置計画は後記参照)

### 会場計画の考え方：

現在、古い工場施設と荒廃した居住区にあたる会場予定地は、数十年にわたって再開発を待っていたところ。博覧会は、単にこの地域の化粧直しを図るだけでなく、「より良き都市、より良き生活」の 2010 年博のテーマの証として、新たな都市生活のパイロット地域に換えようとするものである。

### 輸送、交通：

会場は、上海市の都心に隣接し、さまざまな交通網で容易に来られる場所にある。現存する都心のさまざまな施設は、既に博覧会の来場者にサービスを提供できる用意が整っている。

### 産業構造の再編：

造船場、鉄鋼プラントのような、現在、会場予定地にある古い工業は上海の周辺に移設し、博覧会終了後、会場用地は主として第三次産業に転用される予定。この計画は、まさに都市の産業構造の再編計画に適したものである。

### 跡地利用：

会場の跡地計画は、黄浦江岸地区の再建計画の中核にあり、このため、政財界の十分な支援を受けることになる。

### 基本コンセプト：

マスタープランは「調和の都市 (City of Harmony)」というコンセプトにもとづく。人と自然の調和、過去、現在、未来の調和、並びに個人間の調和がマスタープラン上のさまざまな要素となる。

#### ◆人と自然の調和：

黄浦江両岸に位置する 2010 年世博の二つの会場はウォーターフロントの緑地帯で統合される。これはマスタープランの中心的な側面で、この人工的な緑地帯と緑の楔は、テーマ、即ち、人と自然の調和のとれた共存の重要な一面を示すものである。

◆過去、現在、未来の調和：

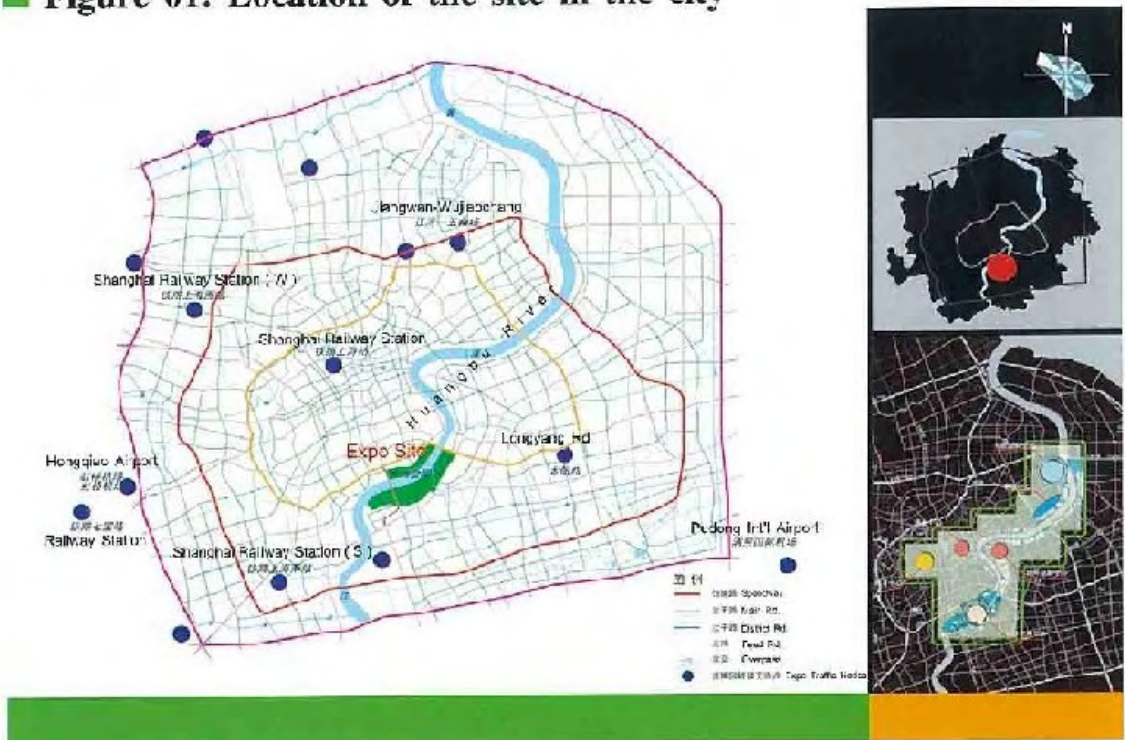
会場に残る古い工業施設の建物、その他歴史的建築物は、2010年世博の開催期間並びに閉会後も保護され、「人類の歴史と文化的遺産を重んじることは、より生き甲斐のある未来を構築するための本質的な要件である」という強いメッセージを発信しようとするものである。

◆個人の間の調和：

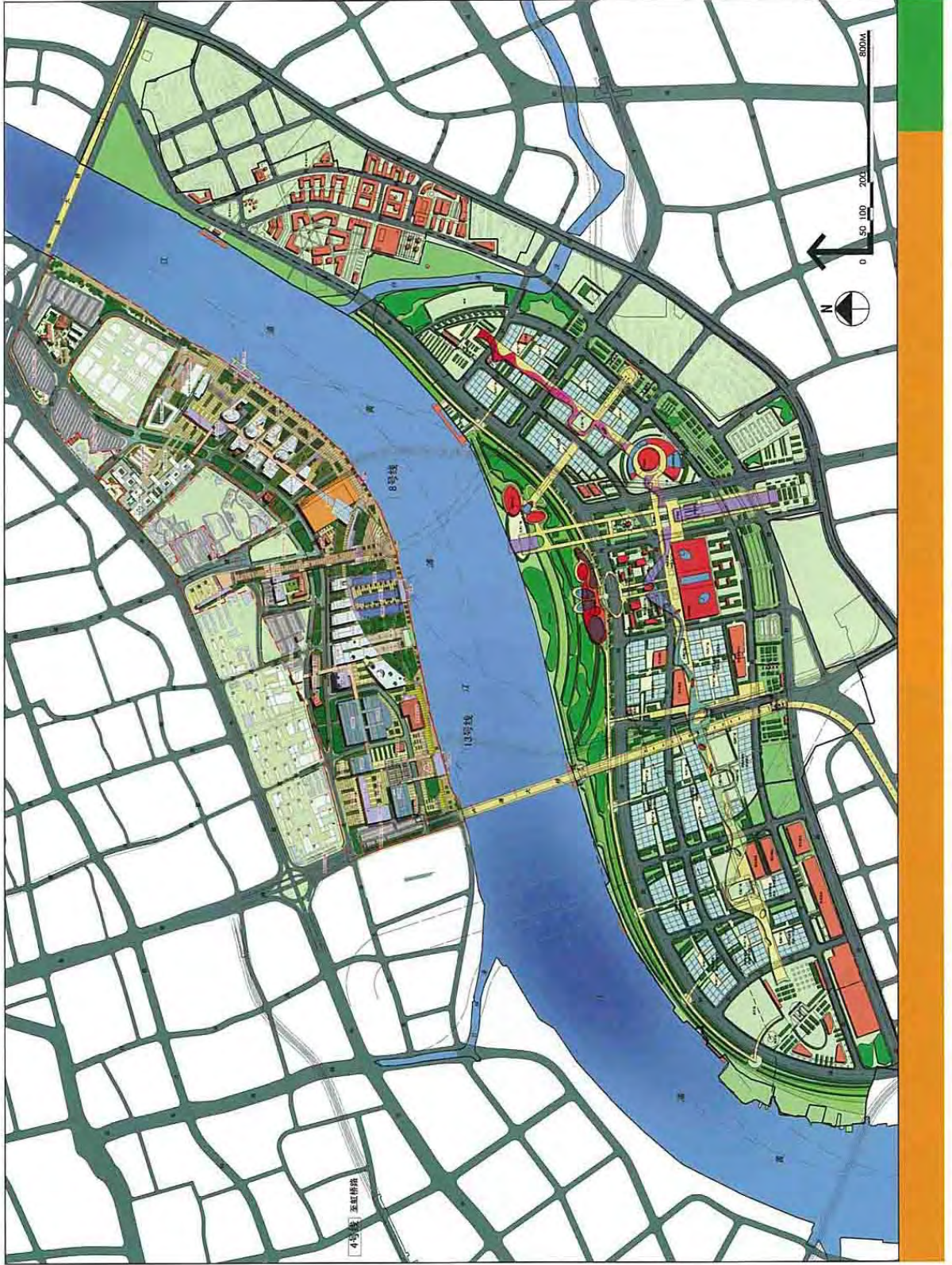
この点は、さまざまな活動と最新のコミュニケーション技術を駆使することにより、個人とグループ間の相互作用とコミュニケーションのための堅固でバーチャルなプラットフォームを構築することに反映させる。

上海市における会場の場所

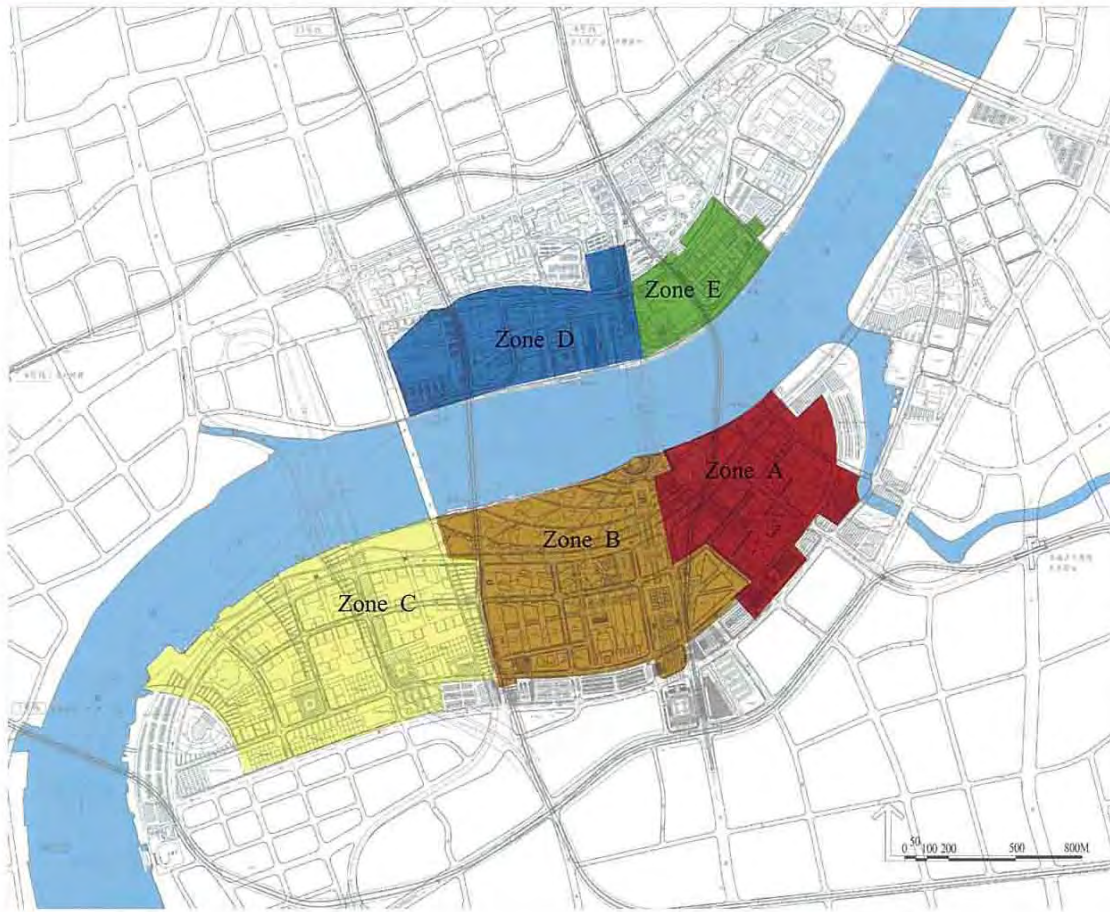
■ Figure 01: Location of the site in the city



■ **Figure 03: The master plan**



**Figure 04: Zoning of the site**



	<b>Function</b>
Zone A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● China pavilion</li> <li>● Foreign national pavilions (Asian and Oceanian countries)</li> </ul>
Zone B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Theme pavilions</li> <li>● Public center</li> <li>● Performing arts center</li> </ul>
Zone C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Foreign national pavilions (European, American and African countries)</li> <li>● International organization pavilions</li> </ul>
Zone D	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Corporate pavilions</li> </ul>
Zone E	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Corporate pavilions</li> <li>● World Expo Museum</li> <li>● Urban Best Practice Area</li> </ul>

ZONE A: 黄浦江東岸	53.93 ha.	中国館、アジア・オセアニア諸国館
ZONE B: "	88.37 ha.	テーマ館、公共施設、行催事施設
ZONE C: "	103.07 ha.	欧州、米州、アフリカ諸国、国際機関館
ZONE D: 黄浦江西岸	49.73 ha.	企業館
ZONE E: "	26.90 ha.	企業館、万博ミュージアム等

## パビリオンのタイプ：

### ◆タイプⅠ：

パビリオンは、公式参加者の設計、施工によるもの。

敷地は参加者に対して無償で提供される。敷地区画の単位を 500 m<sup>2</sup>とし、参加者は、2 単位から 12 単位、即ち、1000 m<sup>2</sup>から 6000 m<sup>2</sup>まで申請できるものとする。

敷地区画の割当申請は博覧会開会の **30 ヶ月前**までに行う。閉会后、全ての構築物を解体し、土地を原状に復帰して、**2011 年 5 月 1 日**までに開催者に返還しなければならない。

(注)

- 1) 割当てられた敷地の建蔽率は 60%から 80%までとする。
- 2) タイプⅠのパビリオンの高さは 20mを限度とする。
- 3) タイプⅠのパビリオンの参加者は、実際の必要性に応じて、それぞれ建物内に中二階、又は複数階を設けることができる。
- 4) タイプⅠのパビリオンは全て仮設構造物とするが、同一場所若しくは他の場所で後利用ができるように、移設可能な構造体のパビリオンの建築が勧められる。

### ◆タイプⅡ：

開催者が建設し、参加者に賃貸する独立パビリオン。

このカテゴリーのパビリオンは、500 m<sup>2</sup> (1 単位)、1000 m<sup>2</sup> (2 単位)、2000 m<sup>2</sup> (4 単位) の 3 種類。

各参加者に対して床面積の 8%にあたる屋外スペースを無償で提供。

パビリオンスペースの割当申請は博覧会開会の **30 ヶ月前**までに行う。閉会后、全出展物を撤去し、**2010 年 12 月 31 日**までにスペースを開催者に明け渡さなければならない。

賃貸料：2 単位まで 4,100 人民元、4 単位は 3,900 人民元。

BIE 加盟国は 15%割引。

### ◆タイプⅢ：

開催者が建設して開発途上国に屋内スペースを貸与する共同館建物。

これに該当する参加者は、原則として共同館内に 1 単位 (324 m<sup>2</sup>) の純展示スペースが割り当てられ、特例的に最高 2 単位 (628 m<sup>2</sup>) のスペースが割り当てられる。この 1 単位の追加は、その必要性にもとづき、別途追加申請書の形式で要請するものとする。屋外スペースは、土地の地形的特徴に応じて参加者に提供される。

展示スペースは **2009 年 11 月 1 日**又は博覧会開会の **30 ヶ月前**<sup>1</sup>までに引き渡しができるようにし、閉会后の原状回復返還は **2010 年 11 月 30 日**までに行われるものとする。

---

<sup>1</sup> (訳注) ここでいう「30 ヶ月前」は、2009 年 11 月 1 日と比べてタイミングが早すぎる。要確認。

タイプ別パビリオン建設スケジュール

Table 01: Schedule of Pavilion Development

Type of Pavilions	2004			2005			2006			2007			2008			2009			2010			2011														
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
Type I	Site clearance & preparation																																			
Type II	Pavilion design by participants (subject to approval by the Organizer)																																			
	Land transfer / Construction of pavilions																																			
Type III	Preliminary work																																			
	Pavilion design by the Organizer																																			
China Pavilion /Theme Pavilion(s)	Construction of pavilions by the Organizer																																			
	Pavilions rented out to participants																																			
Exhibition fitting-out																																				
Removal of exhibits																																				
Dismantling																																				

## 財政支援

国際博覧会の慣例と開発途上国参加の促進目的に従い、開発途上国への財政支援措置として、開催者は1億米ドルの基金を設立した。

### ◆支援対象国：

- 1) UNCTAD 指定の最低開発国 (LDC)、及び世銀指定の低所得国 (一人当たりの所得が 825 米ドル以下の LIC)
- 2) 世銀指定の中低所得国 (一人当たりの所得が 826 米ドルから 3,255 米ドルの LMIC)

### ◆支援対象費目：

- 1) 出展企画作成のためのコンサルタント費用
  - 2) 展示館のデザイン、据付工事及び解体撤去費用
  - 3) 展示館の運営費用 (清掃、警備、電力、給水、備品機器のレンタル等)
  - 4) 出展物の通関、輸送、倉庫保管、保険に関わる費用
  - 5) 特定行催事の実施費用 (ナショナルデーを含む)
  - 6) 参加者の中国内での広報、PR 関係費用
  - 7) 会期中の特定行催事に対する VIP 及びその配偶者の参加費用
  - 8) 会期中の特定行催事への報道関係者の参加費用
  - 9) 展示館運営に対する参加者スタッフの訓練費用
  - 10) 博覧会の準備開催期間中のスタッフ関係費用 (現地スタッフの雇用を含む)
- 財政支援計画の詳細は、参加ガイドラインに掲載する予定。

## コミュニケーションとプロモーション

### 「コミュニケーション」と「プロモーション」：

博覧会の用語で「コミュニケーション」とは、参加誘致を主目的として、潜在的な参加者を対象とした対話、PR を意味する。

「プロモーション」とは、多くの面で「コミュニケーション」に似ているが、観客動員と十分な収入確保を目的として、主として潜在的な来場者、ビジネスパートナーを対象とした PR をいう。

コミュニケーションとプロモーションは相互に結びついているが、その主目標に応じて、コミュニケーション計画は通常早期にはじめられ、プロモーションは少し遅れてはじめられる。

### 基本的なメッセージ：

2010 年世博に関する基本的なメッセージは次の通りである。

2010 年世博は、文化の多様性と多分野にわたるコミュニケーション、並びに人と人の有意義な相互交流を特色とする世界規模のユニークなイベントであり、これは、人類が達成した成果を見せ、未来に対する新たな方向と願望を引出そうとする。2010 年世博は、都市の発展、並びに中国、アジア太平洋地域の発展についてのグローバルな対話の舞台を提供するものである。

### 調整のメカニズム：

コミュニケーション並びにプロモーションのための調整メカニズムは、4つの部分からなる。

第一は、開催国政府と関係執行機関、第二は、BIE、開催者と一定の参加者の代表で構成される調整委員会、第三は、コミュニケーションとプロモーション戦略及びその行動計画の関連性と効率性を確保するために年毎に開催されるこの委員会と参加者による国際企画会議である。最後ではあるが、軽んずべきでないこととして、調整メカニズムには、さらにPR、マーケティング、広告宣伝、イベント・マネージメントに関係する専門的なエージェントも関与する。

### コミュニケーション：

#### ◆目的：

公式参加者の誘致目標を**200**とし、博覧会のイメージ強化と2010年世博のテーマに関するグローバルな対話の促進を図る。

#### ◆対象：

外国政府、世界的、地域的な政府間機関、NGO、NPOのほか、中国における県市、自治州、特別行政区を対象とする。

#### ◆チャネル：

##### 1) 外交的、公式チャネル

2010年世博の参加招請状は外交チャンネルで送られ、確認される。参加に関する詳細も公式レベルでまとめられる。

##### 2) 誘致促進の個別訪問

参加招請のための個別訪問は、誘致対象の国、地域において公式なレベルで2010年世博のイメージを広める話合いをする良い機会となる。

##### 3) 国際機関との直接交渉

2010年世博のテーマ「より良き都市、より良き生活」は、かなり多くの国際機関の所管分野と共通点をもつ。開催者は、面談その他の直接連絡を通じて、これら国際機関の支援又は参加が得られるように努める。

##### 4) メディア対策

メディアの協力を得て、2010年世博の情報を定期的に広報する。

##### 5) グローバル・イベントの活用

開催者は、主要な国際イベント、フォーラムにおいて上海の広報に努める。

### プロモーション：

#### ◆目的：

来場者7000万人を想定し、十分な収入を確保することを目的とする。

#### ◆対象：

国内及び海外の潜在的な来場者及び国内、海外の主要な企業

#### ◆プロモーション戦略：

##### 1) 文化プログラム

国際博覧会のイメージを広め、中国文化の真髄を説明するため、各種の文化プログラムを実施する。

2004年以降、毎年ベースで上海世界博覧会フェスティバルを開催の予定。特集出版物、ドキュメンタリーを配布するとともに、コンクールを通じて、博覧会のロゴ、スローガン、テーマソング、マスコットを設定する。マスコットのデザインの国際コンクールが近く実施される予定。

#### 2) インターネットの活用

国内及び国際ページ構成のインターネットによるプロモーション計画を実施する。

2010年世博の公式ウェブサイトは、本博の最新情報をウェブサイト上で探す人々の最初のストップ点になり、さらに、調査を行う際にブログ等のニューメディア技術が活用される。

#### 3) 広告の利用

広告戦略は、2010年世博に参加予定の主要な多国間機関、多国籍企業とのマーケティング上のパートナーシップ展開を取込む。個別に特定したメディア戦略は、対象とする世界に広がる観客向けの宣伝資源の効率的活用を確保することになる。

#### 4) メディア・プロモーション

開催者はメディアをフルに活用する。2010年世博の特別番組をテレビで放映するとともに、定期的に2010年世博誌を発行し、博覧会のテーマを基にした一連の資料を配布する。

#### 5) 観光促進

開催者は、旅行代理店とタイアップして、2010年世博への旅行ルートの開発と国内マーケットを対象としたプロモーション・プログラムを進める。開催者は、毎年の国際観光フェアに参加するほか、特別文化観光商品を計画する。

#### 6) 多国籍企業との直接連絡

さまざまなビジネスとの直接連絡は、サプライヤー、ビジネス・パートナー、又は参加者として、博覧会に対する企業の関心を高めることにある。

中国に協力に進出するビジネスや博覧会の準備運営に密接に関連する業種がプロモーションの潜在的な対象となる。

## 商業化計画

### 商業化計画：

2010年世博の商業的運営は、博覧会のさまざまな資源を活用して開催者が必要なコマーシャル・サービスを提供するための措置をいう。これは、博覧会固有の価値を強化し、外国政府、企業部門、及び世界の人々の関心と参加を誘致することを目的とする。このプログラムは、博覧会の価値をフルに認識し、これを成功させるための財源、成果物、技術及びサービスを確保しようとするものである。

この商業的運営は次の部門、即ち、スポンサーシップ、ライセンス製品、イベント・マネージメント、入場券販売、並びに場内営業施設賃貸、その他の部門からなる。この中、スポンサーシップ計画、ライセンス製品計画、ならびにイベント・マネー

ジメント計画は、準備段階から 6 ヶ月の会期中に至るもので、その他の 2 部門は、博覧会準備の進捗状況に応じて展開されることになる。

◆スポンサーシップ (Brand sponsorship) :

スポンサーシップ計画は、2010 年世博のパートナー計画とシニア・スポンサー計画を含む。ライセンス製品の製造業者は、博覧会の準備作業、並びに博覧会とそのテーマに密接に関係する分野から広く募集する。パートナーとシニア・スポンサーは 2 つの異なる部門グループで、開催者に対する協賛条件が異なる。

◆ライセンス製品 (Licensed products) :

2010 年世博の開催者は、資格が認められる業者に、徽章、マスコットのような 2010 年世博のシンボルを使用した製品の製造販売のライセンスを与える。この製品は、2010 年世博のテーマと意義を広め、一般大衆が日々の消費生活で「より良き都市、より良き生活」を深く理解できるようなカテゴリーにもとづくものとする。開催者は、既に世界約 40 カ国に商標登録申請を行っており、この商業化計画実施の進捗状況に即して、ライセンシーを選別してゆくことになる。

◆イベント・マネジメント (Event management) :

開催者は、2010 年世博の開幕前と開催期間中に本博をプロモートし、本博を構成する一連のイベントを立ち上げる。これらイベントは、博覧会のテーマとブランドを具体的に表現するもので、開催者は、これらイベントのスポンサーを企業から募集し、さまざまなメディアを通じてイベントが広く放送、放映せるようにする。このプログラムは、一方においてイベントそのものを一般に広く知らしめるほか、他方において、さまざまな部門と規模の企業の博覧会に対する参加を広く知らしめるという、相互の利益をもつ。

◆入場券販売 (Ticketing) :

2010 年世博の入場券は、広く旅行代理店のグローバルなネットワークを通じて販売される。博覧会の観客動員と中国内の特定観光地に向けての観光客を誘致するために、テーマをもった団体観光ツアーが販売されることになろう。

◆場内営業施設の賃貸 (Venue leasing) :

会場内の主要箇所に、観客の需要に対応した飲食施設、物販店が設けられる。開催者は、しかるべき時期に、これら飲食、物販店用の敷地、施設のリースを開始する。この割当には、商業化計画の他の部門への協賛度合いが優先順序として考慮される。

関連部門のビジネス機会 :

◆建設 :

博覧会の会場計画は、不動産業界、及び建築設計、建築機材、内部装飾並びに装飾資材等、関連部門に対する巨大な需要を創出する。想定されるプロジェクトには、博覧会場、万博村、及び浦東国際空港の拡張計画、その他に対する設計、建設工事、監理運営がある。

◆展覧会、コンベンション :

2010 年世博の開催に伴い、上海は、展覧会やコンベンションのグローバルな一大中心地として大きな進展が期待される。これは、展示会、広告宣伝、並びに

イベント計画の業種部門にとってグッド・ニュースを意味する。この部門の外国企業にとっては、上海企業との合弁を通じてローカル・マーケットに進出できることになる。

◆ホスピタリティ：

2010年世博の開催により、上海は、ホテルの新設、改修工事にめぐり合わせている。潜在的需要を見越して、400を超えるホテルの改修工事と300のホテルの新設が必要と見込まれている。博覧会の観客には、さまざまな消費パターンが見込まれ、宿泊施設にもさまざまな需要に対応できる準備が必要になるが、これは、潜在的なホスピタリティ産業の成長を促すことになる。

◆ツーリズム：

過去の経験からみて、博覧会の直接的恩恵は観光産業にもたらされる。海外の旅行代理店は、上海の提携先と組んで団体旅行やビジネスツアーの企画を進めることができる。

◆コンサルティング：

2010年世博を対内投資誘致の機会とするには、金融、法律、会計サービスなど、優れた仲介役が不可欠となる。観客を惹きつけるためには、小売業、ツーリズム産業、並びに輸送システムが需要に対応できる態勢を整えなければならない。プロモーションを効果的に立ち上げるには、広告宣伝、PRにおける優れた専門知識、ノウハウを必要とする。博覧会で一流の会場建設、運営を行うには、一流の企画、マネジメント能力がその基盤となる。博覧会が効率よく組織されるかどうかは、一に国際的な視野に立って国際的に活動できる能力如何による。高度に発達したコンサルティング部門が2010年世博の成功への道を敷くことになる。

◆ロジスティック：

建設資材、機器類、展示品、並びに事務用機材、運搬車両をはじめ、参加者のスタッフの日用品までが全て搬送されることから、博覧会では、ロジスティック・サービスに対するかなりの需要が発生する。

◆貿易、小売産業：

2010年世博の期間、国別パビリオン、企業パビリオンは、美学的側面と先端技術を包含したさまざまな生産物のショーケースになる。通常、博覧会は、こうしたプロトタイプを大量消費市場に対して手っ取り早く紹介する役割を果たし、併せて広い意味で国々間の貿易と経済協力に向けての重宝なプラットフォームとなる。同時に、大量にのぼる観客は、小売業にとって大きな刺激材になる。

◆メディア：

2010年世博のウェブサイト及び関係雑誌、並びに万博出版局（現在準備中）は、本博覧会にとって中核的なメディアのプラットフォームになる。このプラットフォームは、上海デジタルTVチャンネルの協力と共同所有形態の万博ブックショップに広がることになる。将来、このプラットフォームは、2010年世博のブランドの下に、ニューメディアと従来型の印刷出版メディア、テレビサービスを合体させることになる。これは、B2Bサービスを通じて専門的なクライエ

ントのニーズに対応し、B2C の多次元サービスを通じて一般大衆の需要に対応することが可能になる。

#### ◆科学技術革新：

科学技術の革新は国際博覧会の基本的要素である。「より良き都市、より良き生活」をテーマとする 2010 年世博の場合、参加者は、都市の計画、建設、安全と防災、総合的でインテリジェントな交通システム、環境重視型の環境維持、持続可能なエネルギー資源、情報技術とヘルスケア、その他、公衆衛生といった分野における最新の技術革新を見せようと、鎚を削ることになるだろう。

開催者は、このイベントの準備、運営において革新的な技術を導入することになる。

#### ◆人的資源：

博覧会の準備において、開催組織では、6 つの主要カテゴリーで 72 種の職種に、凡そ 1,200 人の雇用を必要とする。このため、中国内外の人材供給会社、ヘッドハンターの協力の下で人材雇用のネットワークを形成する。採用方法は、必要とする職種によるが、人材データベース、又はヘッドハンター、或いは公募によるものとする。向こう数年、毎年、博覧会の人材需要に関する報告を発表し、そのギャップを埋めるための人材訓練を立ち上げる。この訓練計画と訓練のベースは、関連職種の資格を国際資格証明プログラム、或いは現状のプログラムにおいて、ローカル資源活用型で構築することになる。

### 参加者の手続要領

2005 年 12 月末に BIE に対する登録申請手続が完了後、直ちに、外交経路を経て、公式参加者、即ち、主権国家及び国際機関に対して正式な招請状が送られ、これによって 2010 年博の参加募集計画がはじまる。その間に、非公式参加者、即ち NGO、NPO、民間企業に対する参加招請が開催者によって直接行われる。民間企業は、非公式参加者ではあるが、その参加の意思表示について当該国政府に通報することが求められる。

第一ラウンドの参加募集においては、全国連加盟国及び国際機関、特に 2010 年博覧会のテーマの関連分野を所管する国際機関に対して公式参加招請状が送られる。

その間、開催者は NGO、NPO、及び企業を選別し、これらに招請状を発送して当事者間で交渉を進める。

公式に招請を受けた被招請者は外交経路でその参加を確認するものとし、非公式に招請を受けた被招請者は直接開催者に対してその参加を確認することができる。

参加決定を促し、開催者との参加交渉の基礎になるものとして、しかるべき時期に参加案内書 (*Participation Guidelines*) が発行される。

参加が確認され次第、参加者は、開催者に対して「テーマ説明書」と「出展計画書」の提出が求められる。出展の敷地区画、若しくは出展スペースの割当は、参加者からの正式申請と開催者の検討結果、並びにテーマ説明書の受領承認後に行われる。

## 参加コスト

2010年世博の参加コストは、大別して次の3つのカテゴリからなる。

### ◆パビリオンの費用：

この費用には、設計デザイン、建設施工、機材のレンタル、据付、監理に要する費用、並びに諸税が含まれる。

### ◆出展関係の費用：

出展関係の費用には、出展に係わるデザイン計画、ソフトと映像ハードの制作、内部構造の配置、展示機材（スクリーン、映写機器、補助装置、テレビ機器）、その他の費用が含まれる。

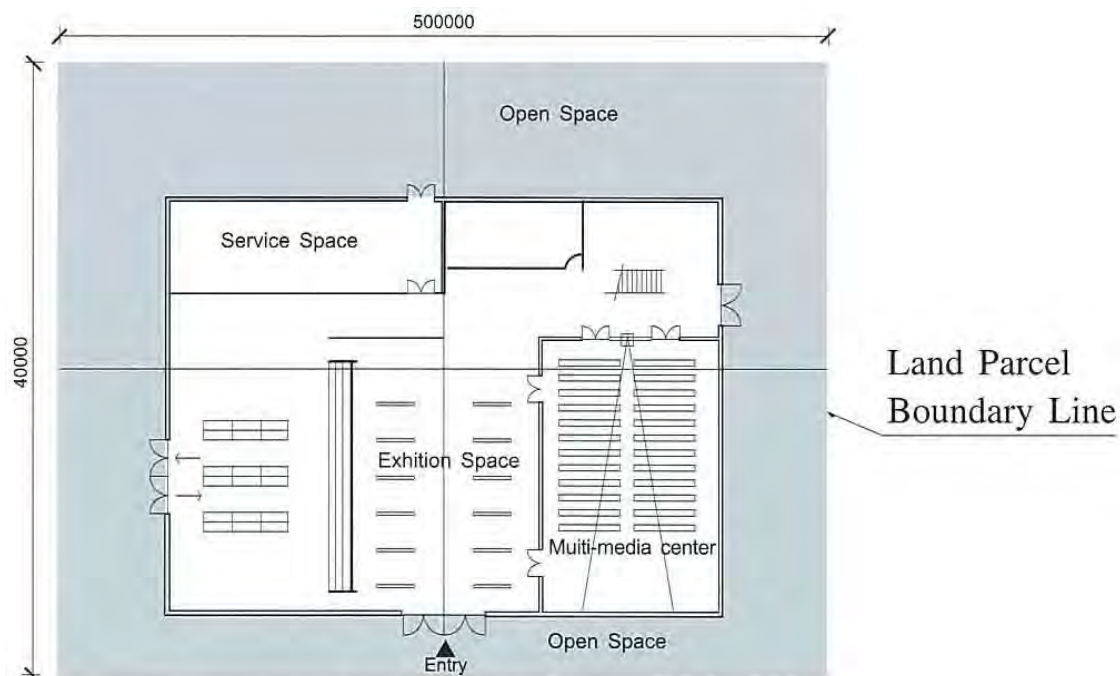
### ◆運営関係の費用：

運営関係の費用には、スタッフの給与、宿舍、保険、保守管理、輸送交通、事務家具備品、その他会期中の関連事業に対する費用など、日々のパビリオン運営に必要な費用が含まれる。

参加コストについては、さらに次のサンプルで説明する。

### サンプル1：

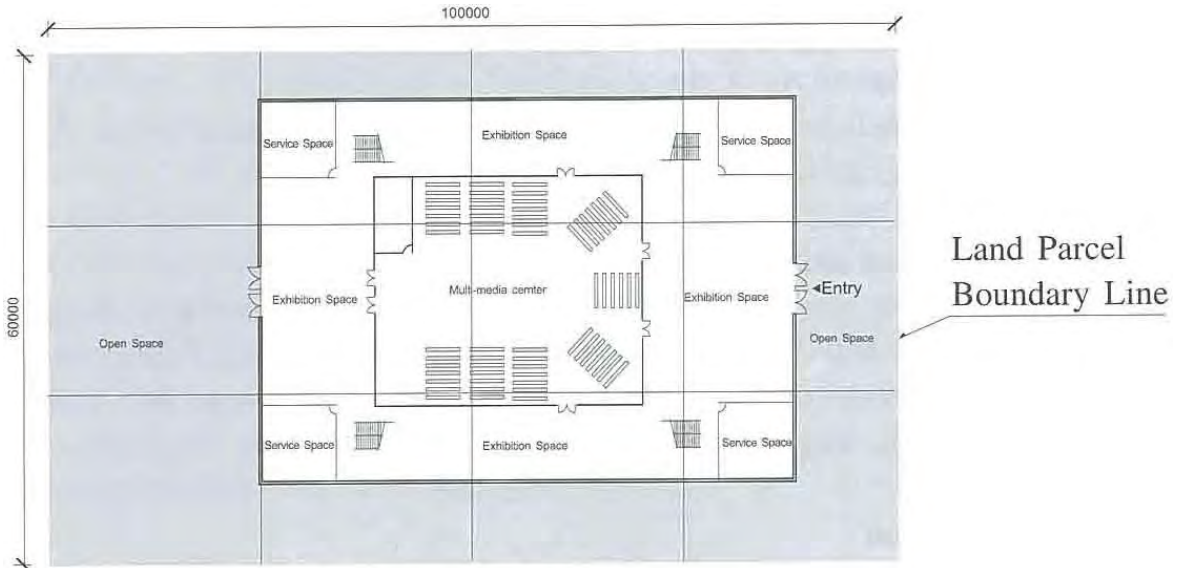
サンプル1は、2000 m<sup>2</sup>の敷地区画に参加者が設計、建築する延床面積 2000 m<sup>2</sup>の複数階のパビリオンの例。



Sketch of Ground Floor Plan (unit: mm)

**サンプル 2 :**

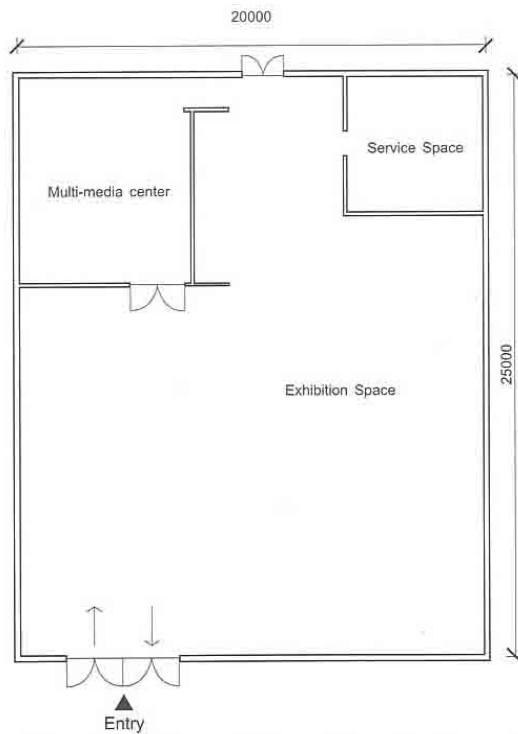
サンプル 2 は、6000 m<sup>2</sup>の敷地区画に参加者が設計、建築する延床面積 6000 m<sup>2</sup>のパビリオンの例。



*Sketch of Ground Floor Plan (unit: mm)*

**サンプル 3 :**

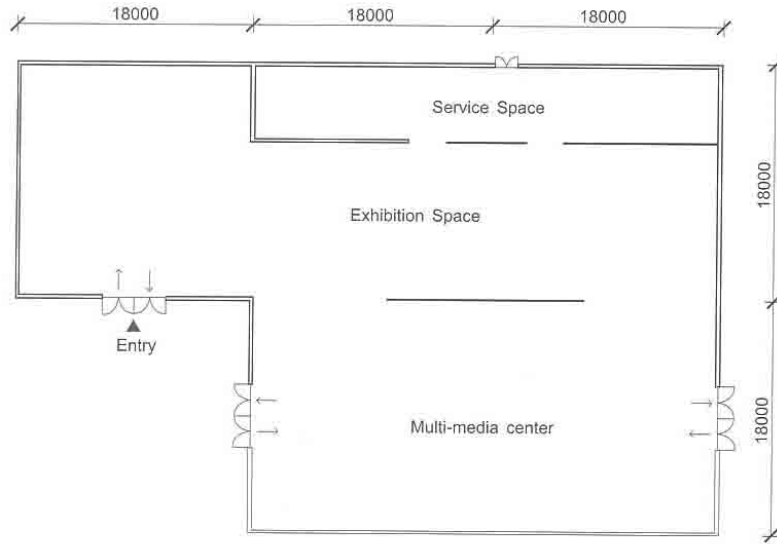
サンプル 3 は、開催者が建設し、公式参加者に貸与される 500 m<sup>2</sup>規模のパビリオンの例。



*Sketch of Ground Floor Plan (unit: mm)*

**サンプル 4 :**

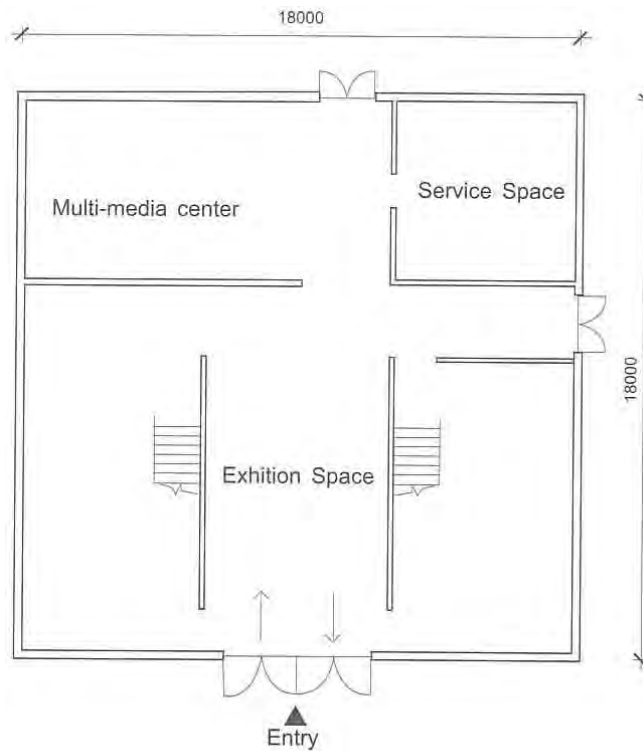
サンプル 4 は、開催者が建設し、公式参加者に貸与される 1000 m<sup>2</sup>規模のパビリオンの例。



*Sketch of Ground Floor Plan (unit: mm)*

**サンプル 5 :**

サンプル 5 は、開催者が建設し、開発途上国に貸与される共同館内の標準スペース (324 m<sup>2</sup>) の例。



*Sketch of Ground Floor Plan (unit: mm)*

参加コスト比較表

Table 02: Comparison of estimated cost of exhibition – Sample 1-5

ITEMS	SAMPLE1	SAMPLE2	SAMPLE3	SAMPLE4	SAMPLE5	DESCRIPTION
	2000 m <sup>2</sup> Type I	6000 m <sup>2</sup> Type I	500 m <sup>2</sup> Type II	1000 m <sup>2</sup> Type II	324 m <sup>2</sup> Type III	
Interior design / exhibition design	825	846	920	862	671	Calculated based on 10% of the below decoration and exhibition expenses
	700	500	800	800	650	
Basic interior decoration & installation	450	400	440	430	-	Air conditioners, air duct, ventilation facilities, etc.
	100	80	130	120	-	
Exhibition equipment & hardware (including shipment & installation)	500	480	430	420	260	Power facilities, lighting, telecommunication and Internet, etc.
	1,500	1,200	2,800	1,950	2,000	
Exhibition space	3,800	3,800	1,800	3,900	1,600	Lighting control systems, audio systems, video and control systems (including 16 TV sets, 2 projectors and 2 LED screen systems)
	1,200	2,000	2,800	1,000	2,200	
Exhibition software	800	400	800	800	800	Movie making, software programming
Office furniture and equipments	120	100	130	120	100	-
Dismantling and dismounting	100	100	100	100	50	-
Subtotal (RMB)	20,190,000	59,436,000	5,575,000	10,502,000	2,699,200	-

**Table 03: Comparison of estimated cost of operation – Sample 1-5**

ITEMS	SAMPLE1	SAMPLE2	SAMPLE3	SAMPLE4	SAMPLE5	DESCRIPTION
	2000 m <sup>2</sup> Type I	6000 m <sup>2</sup> Type I	500 m <sup>2</sup> Type II	1000 m <sup>2</sup> Type II	324 m <sup>2</sup> Type III	
Managerial and technical staff	15 persons	50 persons	8 persons	12 persons	8 persons	Including salary(20,000RMB/month/person), accommodation(20,000RMB/month/person), food and transportation expenses(5,000RMB/month/person) etc. Two shifts.
	45,000RMB/month/person					
Secretary / Assistant	4 persons	5 persons	2 persons	3 persons	2 person	Salary. Two shifts.
	5,000 RMB/month/person					
Interpreter	4 persons	5 persons	2 persons	3 persons	1 person	Salary. Two shifts.
	24,000 RMB/month/person					
Security and cleaning	3,600,000	10,800,000	900,000	1,800,000	-	-
	10 RMB/m <sup>2</sup> /day					
Other administrative expenses	3,000,000	8,400,000	600,000	1,500,000	240,000	Bills (water supply, electricity, gas, telecom, etc)
Public relations	1,500,000	4,000,000	400,000	800,000	200,000	Promotion & publicity expense, eg. photographs, posters, newsletter, etc.
Maintenance	1,200,000	3,000,000	240,000	600,000	120,000	-
Insurance	Life insurance	100,000	200,000	500,000	10,000	For staff members.
	Fire insurance	-	-	-	-	Covered by the property insurance
	Property insurance	100,000	200,000	20,000	50,000	10,000
Subtotal (RMB)	14,246,000	40,970,000	4,688,000	8,562,000	2,944,000	-

Sample No.	SAMPLE1	SAMPLE2	SAMPLE3	SAMPLE4	SAMPLE5
	2000 m <sup>2</sup> Type I	6000 m <sup>2</sup> Type I	500 m <sup>2</sup> Type II	1000 m <sup>2</sup> Type II	324 m <sup>2</sup> Type III
<b>Total (RMB)</b> (cost of exhibition + cost of operation)	34,436,000	95,606,000	10,263,000	19,064,000	5,643,200

**Table 04: Comparison of cost of construction – Sample 1,2**

ITEMS		SAMPLE 1	SAMPLE 2	DESCRIPTION
		2000 m <sup>2</sup>	6000 m <sup>2</sup>	
		RMB/m <sup>2</sup>		
Construction	Structures	1,600	1,500	Steel structures, partially concrete structures
	Secondary structures	200	200	Partition, walls, doors and windows
	Exterior facade	1,200	1,200	Partially curtain wall and roof systems
Installation	Air conditioning interface	30	30	Interface of chilled water
	Electricity	100	100	Electricity interface and basic lighting
	Water supply and drainage systems	30	30	Water supply and drainage systems
	Fire services	220	220	Fire services and alarming systems
Design and project management		338	328	Calculated based on 10% of the above construction and installation expenses
<b>Total(RMB)</b>		<b>7,436,000</b>	<b>21,648,000</b>	-

**Table 05: Local price standard for relevant service and products**  
(As of August, 2005)

ITEMS	PRICES
Water	RMB 1.50/m <sup>3</sup> for water supply, and RMB 1.40/m <sup>3</sup> of water drainage at 90% of the supply.
Electricity	RMB 0.666/ kwh for dynamical drive, RMB 0.777/kwh for lighting
Natural gas	RMB 730 of gas facility fee for new users, and RMB 2.10/m <sup>3</sup> of natural gas used
Public transport in the inner city	For average bus, RMB 1.00 for regular routes of less than 13 kilometers in the inner city, RMB 1.50 for normal routes of more than 13 kilometers; For air-conditioned bus, RMB 2.00 for all routes
Rail transit in the inner city	Minimum of RMB 2.00 for 6 kilometers, RMB 3.00 for 16 kilometers, and RMB 1.00 for every 6 kilometers after 16 kilometers.
Passenger taxi in the inner city	Minimum of RMB 10 for 3 kilometers, RMB 2.00 for each kilometer after 3 kilometers, and RMB 3.00 for each kilometer after 10 kilometers; At night from 11 pm to 5 am the next day, the taxi charge rises by 30%.
Cargo taxi in the inner city	For 0.6-ton taxis, minimum of RMB 18 for 5 kilometer, and RMB 2.00 for each kilometer after 5 kilometers; For 0.9-ton taxis, minimum of RMB 23 for 5 kilometers, and RMB 2.50 for each kilometer after 5 kilometers.
Telephone	RMB 35/ month for basic rental, RMB 0.11/ minute for DDD, and RMB 8.20/ minute for IDD
Cell phone	RMB 50/month for basic rental, RMB 0.40/ minute for local call, and RMB 0.60/ minute for international cruise call
Cable TV	RMB 500/ terminal of installation charge, and RMB 16/ terminal/month for maintenance.
Hotel room rate	RMB 970–1,600/ room (five-star), RMB 490–970/ room (four-star), RMB 150/ bed at economy hotels
Serviced apartment	RMB 19,500/ month for one-bedroom apartment, RMB 22,000/ month for two-bedroom apartment, and RMB 24,000/ month for three-bedroom apartment (including maintenance cost)
Average apartment	RMB 6,500/ month for one-bedroom apartment, RMB 7,300/ month for a two-bedroom apartment, and RMB 8,100/ month for three-bedroom apartment (including maintenance cost)
Security	RMB 2,000/ month for each long-tenured guard; The prices of special, short-term or foreign-related security services are subject to negotiation
Interpreter	RMB 800 /day for each average-level interpreter, and RMB 1,600/ day for each average-level simultaneous interpreter
Secretary	RMB 3,000/ month for a college graduate; RMB 5,000/ month for an assistant with two years' working experience

---

2010 年世界博覧会の開催組織

組織名 : Bureau of Shanghai World Expo Coordination

所在地 : Expo Mansion,  
3588 Pudong Road (S), Shanghai 200125  
China

電 話 : +86-21-2206-2010 + extension

F A X : +86-21-2206-0641

E m a i l : international@expo2010.com

U R L : <http://www.expo2010china.com>

(訳注) 事務局所在地は、2006 年 7 月現在のもの。

---